教育委員会 6 月定例会会議録

1 会議の名称 中之条町教育委員会 6月定例会

2 会議の期日 令和7年6月26日(木)

3 会議の場所 中之条町ツインプラザ 研修室1

4 会議に出席した委員・教育長

教育長	山口 暁夫
委員(教育長職務代理者)	湯本 茂夫
委員	石田 優子
委員	奈良 保宏
委員	塚田 夕子

5 会議に出席した職員

こども未来課長	山本 伸一
生涯学習課長	劔持 和美
次長兼教育指導係長	湯浅 成夫
学校教育係長	唐澤 将希
六合こども未来係長兼六合生涯学習係長	中沢 芳宏
総務係長	外丸 綾子

6 議 事

議案第1号 中之条町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について

議案第2号 東谷風穴整備委員会委員の委嘱について

議案第3号 「第63回 群馬県民スポーツ大会秋季大会」の共催について

議案第4号 「中之条ビエンナーレ 町民アートプロジェクト2025」の後援について

議案第5号 「中之条ビエンナーレ×中之条芸術大学 キッズアートバス」の後援について

7 報 告

(1) 六合地区中学校生徒の教育事務の委託について

8 協議事項

(1) 幼児教育の在り方について

(2) その他

9 その他

- (1) 問題行動及び教育支援センター「虹」、相談室・保健室利用、日本語サポート教室「未来」の状況について
- (2) 6月定例町議会について
- (3) その他

10 事務連絡

7月定例会 7月17日(木) 午前9時30分から ツインプラザ 研修室1

11 開 会

午前9時30分、教育長、教育委員会会議の開会を宣す。
教育長より挨拶

12 会議録署名委員の指名

こども未来課長が今回の会議の会議録署名委員に、石田優子委員を指名

13 会期の決定

会期の決定 本日一日限り

14 会議録の承認

5月定例会会議録について、全員異議なく承認

15 報告事項

(1) 教育長等執務報告

教育長より、令和7年5月28日から令和7年7月17日までの行事等について報告

(町社会教育委員会、中之条小学校計画訪問、六合地区学校運営協議会、教育事務に関する県教育委員会との打合せ、郡中学校長会、まちなか5時間リレーマラソン運営委員会、ブルガリア・フェア、町社会福祉協議会理事会、長野原町との教育事務の委託に関する協議書調印式、町議会本会議、同文教民生常任委員会、中之条中学校計画訪問、吾妻広域町村圏振興整備組合理事会、同定例会、定例教育委員会、県へき地教育振興会総会、老人大学開講式、白根開善学校創立47周年記念式典、アウトメディア推進委員会・いじめ防止等のための連絡協議会、町奨学金貸付審議会、県町村教育長研修会、沢田幼稚園計画訪問、町教育支援委員会、郡教育長会議、県教育長人事会議、博物館「ミュゼ」運営審議会、町給食センター運営委員会、次回定例教育委員会など)

16 会議における議事の経過及び発言趣旨

議案第1号 中之条町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について

こども未来課長より、議案資料について説明

特別支援学校への就学奨励に関する法律の趣旨に基づき、町立小中学校の特別支援学級等に就学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、特別支援教育就学奨励費を支給することについて、必要な事項を定めるものである。

異議なく、原案のとおり承認

議案第2号 東谷風穴整備委員会委員の委嘱について

生涯学習課長より、議案資料について説明

任期替えとなることから、新たに委嘱を行いたいので承認を願いたい。任期は2年である。

異議なく、原案のとおり承認

議案第3号 「第63回 群馬県民スポーツ大会秋季大会」の共催について

生涯学習課長より、議案資料について説明

主催は群馬県であり、毎年、県内の市町村及び教育委員会に共催依頼があるものである。公的また恒例の行事であるため、承認して問題ないと思われる。

異議なく、承認

議案第4号 「中之条ビエンナーレ 町民アートプロジェクト2025」の後援について

生涯学習課長より、議案資料について説明

実施主体は中之条ビエンナーレ実行委員会であり、当該団体は、町から運営費補助金を受けている公益性の高い団体である。行事は、町有施設である伊参公民館で行われ、インクルーシブなアート環境を創造することを目的に、展覧会とワークショップが行われる計画である。

異議なく、承認

議案第5号 「中之条ビエンナーレ×中之条芸術大学 キッズアートバス」の後援について

生涯学習課長より、議案資料について説明

議案第4号と同じく、実施主体は中之条ビエンナーレ実行委員会である。当該行事は、伊参地区・六合地区を中心に中之条ビエンナーレ会場を巡る子ども向けバスツアーである。群馬大学の学生や移住アーティストらと連携し、鑑賞プログラムとワークショップを行う計画で、参加費は一人3,500円の徴収を予定している。

異議なく、承認

(1) 六合地区中学校生徒の教育事務の委託について

こども未来課長より、報告

- ・ 令和7年6月3日、長野原町議会において、両町間の教育事務の委託に関する規約について、議案可決
- ・ 令和7年6月10日、中之条町議会において、両町間の教育事務の委託に関する規約について、議案可決
- ・ 両町議会の議決を経て、同日、長野原町役場にて両町連名の協議書の調印が行われた。(これにより法律上の協議が成立)
- ・ 同日、中之条町六合地区中学校生徒の教育に係る事務を長野原町に委託することを告示した。
- ・ 今後、群馬県知事、群馬県教育委員会へ届出を行う予定である。
- ・ 町広報誌7月号にて周知。六合地区住民については、7月1日の区長配布文書にて、毎戸配布により重ねて周知される予定である。
- ・ 並行して学校間の交流も行われており、6月17日、長野原中学校の高原学校でのカッター実習に、六合中学校の生徒も一緒に参加して交流を行った。今後もできる限りの交流を行い、生徒や保護者の不安を解消できるよう努めてまいりたい。

18 協議事項

(1) 幼児教育の在り方について

こども未来課長より、資料について説明

- ・ 中之条町の出生件数の推移(平成17年度～令和6年度)では、平成17年度と比較して54.2%減少し、令和6年度の出生者数は49人であった。
- ・ 中之条町人口の推移(平成24年度～令和6年度)では、平成24年度と比較すると19.7%減少し、令和6年度では14,387人であった。
- ・ 中之条町児童生徒の推移(平成24年度～令和7年度)では、平成24年度と比較すると40.3%減少し、令和7年度では736人、人口全体の減少よりも減少率が高いことが伺える。
- ・ 将来の乳幼児数は、令和9年度には1学年60人未満に減少すると予測されることから、保育・幼児教育施設の規模の適正化を今から検討する必要がある。
- ・ 中之条地区の町立保育所・幼稚園の数は現在4施設あるが、各施設の定員能力を考慮すると2～3施設が適正規模であると考えられる。
- ・ 就学前の子を持つ保護者を対象に行ったアンケート調査「第3期中之条町子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査」では、「土日祝日の保育」、「19時までの延長保育」、「病児保育」へのニーズが高かった。
- ・ 幼稚園・保育所の方向性を検討する資料として、6パターンの編成案を事務局から提案するので、ご意見をいただきたい。各パターンともメリットとデメリットがあり、検討の参考にしていただきたい。
- ・ 検討のポイントとなるのは、幼稚園教育をどの程度残すのか否か、少人数保育を存続するか否か(ただし、少人数保育は、文部科学省などが推進するインクルーシブ教育に相反するもので

あることを踏まえて検討が必要)、0～2歳児を預かる施設には自園調理場の設置が義務付けられていること等が挙げられる。令和9年度入所(園)申込が始まる令和8年夏までには、今後の幼児教育の方向性を示したいと考えており、ご検討いただきたい。

(湯本教育長職務代理人)

幼稚園で0～2歳児を預かる場合には、自園調理場が必要とのことだが、自園調理場の解釈は、同一敷地内に調理場を設置しなければならないということか。

(こども未来課長)

0～2歳児は、離乳食調理や細かく刻む調理が必要となるため、敷地内に自園調理場の設置が必要とされている。ただし、六合こども園については、内閣府の構造改革特区を受けているため、学校給食センターから搬入できるようになっている。

(湯本教育長職務代理人)

パターン2、パターン3の保育所を認定こども園化する場合は、「保育所型」を想定しているのか。

(こども未来課長)

「保育所型」、「幼稚園型」「幼保連携型」、いずれの選択も考え次第かと思われる。今の保育所を認定こども園化する場合は、例えば伊勢町保育所の場合は、職員室がないので施設の改修も必要になってくる。

(奈良委員)

幼稚園・保育所の再編が行われる場合、今よりも距離が遠くなる家庭が出てくると思うが、通園バスの導入は考えられるのか。

(こども未来課長)

導入も必要かと思うが、スクールバスと違い、時間の幅が広いと、朝夕の1便対応がやっとならないかと考える。方向性の検討の過程では、考慮に入れる内容だと思う。

(教育長)

幼稚園と保育所の職員の働き方の違いにも着目したい。まず、勤務時間については、保育所保育士は、早番・遅番や土曜保育への対応もあるが、幼稚園教諭では、原則は通常の勤務時間内である。また、職員研修についても、幼稚園教諭は研修機会が豊富に与えられるが、保育所保育士は、研修を受ける時間を作るのに苦労するような状態である。「幼稚園型」又は「幼保連携型」の認定こども園にする場合には、教育事務所の訪問指導を受けるようになるので、細かな指導案を作成する必要があり、このように制度が大きく変わってくるといことも周知する必要がある。

また、保育所へのニーズが依然高いことから、少子化が進むことによって、今後、幼稚園はますます少人数にならざるを得ず、集団生活の営みに課題を生じる可能性がある。課題も多いが知恵を出し合って、何とか方向性を見出してまいりたい。

(湯本教育長職務代理人)

認定こども園化をするにしても、幼稚園型、保育所型、幼保連携型、どれを選択していくのか、又は併用していくかを、まず考えてみてはいかがだろうか。

次回の検討の際は、郡内の状況を情報提供していただき、更に議論を深めてまいりたい。

(2) その他

なし。

19 その他

(1) 問題行動及び教育支援センター「虹」、相談室・保健室利用、日本語サポート教室「未来」の状況について

次長兼教育指導係長より、資料について説明。5月の実績が報告された。

(2) 6月定例町議会について

文教民生常任委員会での各議員からの質問と答弁の内容について報告

・こども未来課長より報告

(六合小学校灯油タンク更新工事について、給食センターの統合について、尾瀬ネイチャーラーニング事業について、日本語サポート教室指導員について、教員の多忙化解消について、AIによるデジタル採点の導入について、米飯給食について、中之条中学校の部活動について、こども誰でも通園制度について)

・生涯学習課長より報告

(国民スポーツ大会について、富沢家住宅の整備について、アウトメディアの取組について、町民のスポーツ大会への参加について、東谷風穴の改修について、町出身ピアニストについて)

(3) その他

生涯学習課長より、中之条町歴史と民俗の博物館「ミュゼ」企画展『高橋景作没後 150 周年記念 高野長英展「知っていますか？高野長英」』の開催について説明

20 事務連絡

7月定例会 7月17日(木) 9時30分から ツインプラザ 研修室1

21 閉会の宣言

午前10時55分、教育長、教育委員会会議の閉会を宣す。

22 議決事項

議案第1号 中之条町特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について

議案第2号 東谷風穴整備委員会委員の委嘱について

議案第3号 「第63回 群馬県民スポーツ大会秋季大会」の共催について

議案第4号 「中之条ビエンナーレ 町民アートプロジェクト2025」の後援について

議案第5号 「中之条ビエンナーレ×中之条芸術大学 キッズアートバス」の後援について
(承 認)